



- 目的

- マイクロサンプリングを実践するには、技術的な課題解決が必要となる。昨年の活動 (DG2015-17) から浮かび上がった課題に加えメンバーが感じる課題をピックアップし、課題解決に向けて有益となる情報の共有し、具体的対策について議論する。

- 議論のテーマ

- 採血方法や用いるデバイスのメリット・デメリット
- 投与部位の違いによるPKデータの差, 採血による生理学的な影響
- マイクロサンプリングにおける追加バリデーション
- 分析法の高感度化
- ピペットの真度・精度



- 活動経過

- 各社のマイクロサンプリングへの意識や対応状況，興味のある技術や器具等を調査した（2016年9月）.
製薬企業及びCRO，31社から回答を回収.
回答が得られた85%以上の企業はマイクロサンプリング導入のために何らかの検討を実施しており，さらに半数程度の企業については，昨年度のアンケート時（15年10月）と比べて対応が活発化したという結果であった.
- 技術的課題検討の議論を深化させるために，第2回目のアンケートを実施予定（2016年11月）.

- 第8回JBFシンポジウムでの発表

- 議論した結果をとりまとめてポスター発表予定